

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 5月26日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	33120
政策名 (章)	第3章 利便性の高い公共交通網の確立をめざします	評価担当課	都市部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 利便性の高い公共交通網の確立		都市交通計画課
施策名	利便性の高い公共交通網の整備	課長名	今田 良

1 施策の概要・目的

バスや鉄道など身近な交通機関の充実に努めるとともに、新しい交通システムの導入に向けた検討や、鉄道の誘致等を進めるなど多様な交通手段の特性を最大限に生かした整備及び促進を図る。

2 施策の現状

広域交通網の充実や鉄道輸送力の増強等を図るため、関係機関に対する要望活動など整備促進に努める。また、「バス交通対策基本計画」に基づき生活交通の確保を図る。さらに、新しい交通システムについては、導入に向け詳細な調査検討を進める。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

2,040,964 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

3,313 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **21** 番目です。

(4) 施策に要している人員

5.63 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	駅舎の改良促進	駅舎の改良数	現状	1 駅	0 50 100	目標年度
			目標	2 駅	50%	18
指標2			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位	%	達成度
指標3			現状	単位	0 50 100	目標年度
			目標	単位	%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

本市の交通は、市の外縁部に鉄道や幹線道路によりその骨格が形成されているため、市内域は、自動車やバスに依存しなければならない状況となっている。よって、バスや鉄道において運行本数の増加や本市中央部と都心とを連絡する新たな路線の設置の必要性があるとともに、魅力ある交通施設の整備が求められている。

6 有効性…期待される効果があがっているか

広域交通ネットワークの整備については、目的別に組織されている同盟会や協議会等を通じ、要望活動を行なうとともに、駅、自由通路や駅前広場の整備を進め、利便性の向上に努める。また、バス・タクシー対策においては、「バス交通対策基本計画」におけるバス路線網再編成等により生活交通の確保を図る。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

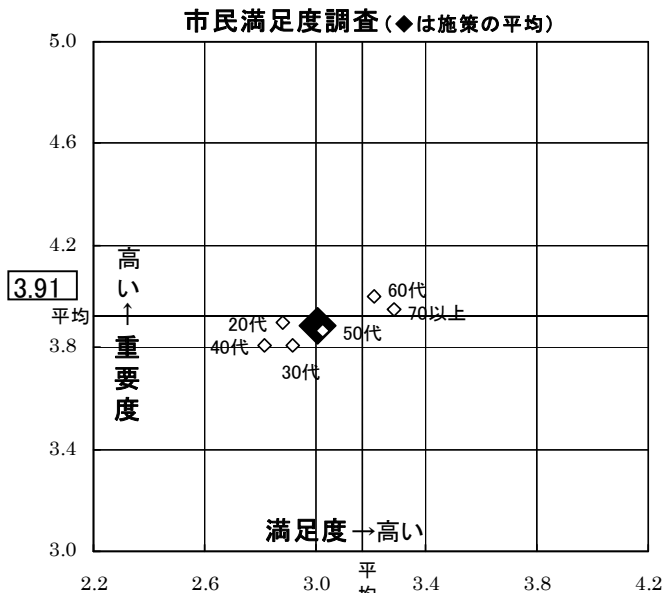
関係市町が連携しあうことで効率化が図れる。また、維持管理業務は関連業務との一体化で効率化を図っている。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.007で、調査した51施策の中で45番目です。

◆この施策の重要度は、3.887で、調査した51施策の中で26番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度は60歳代以上で高く、40歳代で最も低くなっています。



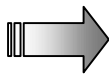
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・事業者と行政との費用負担割合の調整について
- ・計画に基づいたバス路線網を実現するためのバス事業者との調整について

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

今後も粘り強く関連事業者等と調整し、計画通りに推進する。

11 2次評価

説明

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> A | 新しい交通システムの導入については、実現可能性の検証を行うこと。 |
| <input type="checkbox"/> B | |
| <input checked="" type="checkbox"/> C | |

12 外部意見

説明

交通ネットワークの充実に向けて引き続き交通事業者等に要望する必要がある。新たな交通システムについては、市の交通網の根幹を変えるものであることから、早期に整備の方向性を明確にすべきである。

施策名 利便性の高い公共交通網の整備・鉄道対策

施策コード 33122

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額 (千円)	人員 (人)	評価の概要									施策の 中優先 順位
					総合 評価	達成 度	必要 性	効率 性	代替 性	満足 度	有効 性	公平 性	今後の 進め方	
駅舎自由通路等維持管理費	都市交通計画課	15	15,127	0.07	A	A	A	A	/	/	A	B	継続	1
橋本駅北口自由通路維持管理費	都市整備課	14	2,731	0.01	AAA	A	A	A	A	A	/	/	継続	2
相模原・町田広域交通計画連絡調整会議等負担金	都市交通計画課	15	2,817	0.30	A	B	A	B	/	/	B	A	継続	3
相模線複線化等促進期成同盟会負担金	都市交通計画課	15	2,617	0.30	AA	B	A	B	/	/	A	A	継続	4
鉄道輸送力増強促進団体経費	都市交通計画課	15	648	0.04	AA	B	A	A	/	/	A		見直し	5
相模線複線化調査事業	都市交通計画課	15	5,400	0.40	AAA	A	A	B	/	/	A	A	継続	6
相模線沿線魅力アップ推進会議	都市交通計画課	15	183	0.01	A	B	B	B	/	/	A	A	見直し	7
上溝駅前広場用地購入事業	道路整備課	14	1,279,418	1.00	AAA	A	A	A	A	A	A	/	完了	再掲
上溝駅前広場整備事業(継続費)	道路整備課	14	686,388	1.00	AA	A	A	A	A	A	A	/	完了	再掲
南橋本駅前広場整備事業	道路整備課	14	4,043	0.30	A	A	A	A	B	A	B	/	継続	再掲

施策名 新しい交通システムの導入

施策コード 33124

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額 (千円)	人員 (人)	評価の概要									今後の 進め方	施策 中の 優先 順位
					総合 評価	達成 度	必要 性	効率 性	代替 性	満足 度	有効 性	公平 性			
新しい交通システム 導入計画調査委託	都市交通計画課	14	29,808	2.00	AAA	A	A	A	B	B	A		継続	1	

ページ計 1 事務事業

29,808 2.00 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
千円 人 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性